



チャンスの芽を見逃さない

～日ごろの何気ない行動が大切～

第21代校長 塩原 正美

関東甲信地方では、平年は7月21日頃の梅雨明けに対し、6月29日に梅雨明けしました。1951年の統計開始以来、6月中の梅雨明けは初めてだそうです。これから夏本番。まだ暑さに体が慣れていない時期に、いきなり梅雨明け体も悲鳴を上げていることでしょう。熱中症には十分注意してください。就職の求人票の受付が今月より開始されます。本校でも多くの企業の方が求人票を持参されることが予想されますので、生徒の皆さんは、挨拶の徹底をお願いします。

みなさんは小さいころ将来なりたいものは何でしたか。「おまわりさん」、「看護師さん」、「仮面ライダー〇〇」、「〇〇レンジャー」でしたか。幼いころの夢は本当に叶うと信じていませんでしたか。それが年齢を重ねるうちに、「どうせ俺なんか」、「どうせ私なんかには無理」に変わってきて、親からは「夢を見るな」と言われ、いつの間にか夢を諦めてしまうようになってしまいます。

小さいころは自分の能力は無限だと信じていたのに、年齢を重ねるうち自分の能力の限界を自分自身で決め付けてしまうから、自分には無理と諦めてしまうのです。「夢は必ず叶う」と信じて、自分の物差しで計って無理と決め付けて諦めてはだめです。現在皆さんが当たり前のように利用している最先端技術は、一昔前は夢物語で、その発想は当初、周囲からは実現不可能とか、絶対無理と言われていたものです。でも諦めずに夢の実現へ向けて挑戦し実現した人がいたからこそ、携帯情報端末やウェアブル端末、ソーシャルネットワークサービスなど便利で夢のような、今の社会があるのではないのでしょうか。

就職や進学でも、自分が望む道に挑戦してください。決して諦めず、自分の可能性を信じて正面から挑んでみてください。どこに道が開かれるチャンスがあるかわかりません。

今から30年以上前の話になりますが、私が3年生の担任をしていた時の話です。ある中堅建設会社の人事担当者が事務職の求人票を持って来校され、明るくてやさしい、誰とでもコミュニケーションがとれる人を是非推薦してくださいと話されてお帰りになりました。その方が、しばらくすると学校に戻って来られ、駅までの帰りのバスの中で、お年寄りに席を譲った女子生徒がいて、お年寄りがバス停で降りるときには、荷物を持って手を引いてステップの下まで一緒に降りてあげた女子生徒がいたとのこと。その女子生徒に学年と名前を聞いたが、3年生とだけ教えてくれたと話され、就職希望ならば弊社では是非採用したいので、探してくれないかとお願いされました。翌日、その話を各クラスのホームルームで担任から告げると、一人の女子生徒が名乗り出ました。その女子生徒は、自分には事務職は成績を考えると無理と諦めていましたが、その中堅建設会社の事務職に採用されました。